

# 代表質問の要旨

※本文は質問者自身の原稿によるものです。

会派名	市民派連合	明政会	新政会	市政同志会	和の会	公明党	日本共産党
-----	-------	-----	-----	-------	-----	-----	-------

## 市民派連合

質問者 永田 公由

丸山寿子・今井英雄  
小野光明・古畑秀夫  
石井新吾・永井泰仁

質問時間70分

### 新年度予算は歳出削減を断行

◆予算編成方針について

問 厳しい財政状況の中で、平成20年度予算編成方針の基本的考えは。

答 国庫補助負担金等が削減傾向であるが、歳出で扶助費や退職手当等の増加が見込まれる。大型事業もピークを迎えており、財政支出が拡大する。新規事業は緊急的なものを除き抑制していく。経常経費は5%マイナスシーリングとし、ソフト事業は厳選とスクラップによる予算とする。

◆後期基本計画の主要事業は

問 平成22年から26年までに見込まれる主要事業は。

答 公共施設の耐震診断、耐震改修事業、学校、保育園等の設備、新体育館建設、クリ

ンセンター大規模改修等の事業である。

◆市消防団の組織体制は

問 団員定数の見直しが必要ではないか。

答 現在、各分団に部、団員数、車両等の見直し計画を策定するよう要請している。新年度から本団の副団長を2人とする方針がでている。

◆防災行政無線の整備は

問 平成23年に現在の防災無線が使用できなくなるが。

答 デジタル化にあわせ、同報無線等のシステムについて検討している。

◆区よりの事業要望は

問 事業の施行できない箇所の理由を報告してほしい。

答 現地調査時に話をしているが区長会等で説明したい。

◆環境美化活動の推進は

問 クリーン塩尻パートナー制度の進捗状況はどうか。

答 現在、6事業所、1小学校、2地区から申し込みがあり、田川や公園の美化活動が始まった。PRに努めたい。

◆塩尻ロマン大学大学院は

問 ロマン大学の卒業生の継続した活動の場として、ロマン大学大学院を検討しては。

答 市民活動の進捗からも、意義のあるものであり、ロマ

ン大学の在校生、卒業生の意向を聞く中で研究していく。

◆中心市街地活性化計画は

問 この計画の期間と実現性はどうか。

答 この計画期間は5年間で実効性に重きがおかれている。

◆地域全体をブランド化

問 塩尻地域ブランド戦略を実施するには、専門的部署を設置し本格的に取り組んで。

答 担当する事務事業や現状での関連部局との関係も含めブランド関連を統括して運用できる組織として、設置に向けて検討していく。



市民総ぐるみの雪かき運動についてより市民に理解を得られる努力を

◆除雪対策は万全か

問 市民総ぐるみによる雪かき運動を展開しているが、市民の理解と協力は。

答 区長会で除雪の協力をお願いしている。また広報の折